

秋号 みどり通信

発行 21 世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
 連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17
 TEL 924-2194 FAX 924-2195

【みどりの教室】

日時：令和 4 年 1 月 23 日(日)
 10:00~12:00、14:00~16:00
 場所：とんがりふれあい館ホール
 定員：各 7 名
 内容：季節の寄せ植え
 申込期間：令和 4 年 1 月 6 日(木)9:00 から
 令和 4 年 1 月 10 日(月)17:00 まで
 申込方法：電話で受付。
 定員を超えた場合は抽選になります。

*** 当日検温とマスクの着用をお願いいたします。**

【記念樹交付日】

場所：カルチャーパークカルチャーセンター
 とんがりふれあい館ホール（はがきにて連絡）

対象：記念樹申請者

- ①日時：令和 3 年 10 月 24 日(日)10:00~15:00
- ②日時：令和 3 年 11 月 28 日(日)10:00~15:00
- ③日時：令和 4 年 3 月 13 日(日)10:00~15:00

*** 市内に住宅を新築または購入された方へ苗木を
 1 本プレゼントしています。**

申請期間は新築または購入日から 1 年以内です。

9 月に入るとそれまでの猛暑とは打って変わってめっきり気温が下がってきました。それを感じたかのように秋咲きの花が咲き始めました。ヒガンバナやモクセイの仲間が既に満開を迎えました。これから開花するサザンカも蕾を大きく膨らませてきました。ソヨゴやウメモドキなどの実も、また落葉樹の葉も少しずつ色づいてきました。今年も残り 3 ヶ月、寒さに向かっていきます。最低気温が気になる地域に住んでいますと植物の冬越しが大変になります。人にとっては 1 2 月が最後の月で年号が変わりますが植物は気温や日照時間などの要因によって変化し生きています。



My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

これからは気温が低くなり水やりの頻度は少なくなってきます。しかし降水量が少ない場合や植え替えて間もないものは乾燥してきたらどっぴりとあげます。鉢植えは定期的に必要です。量は鉢植えなら鉢底から水が流れ出ていくような状態に与えます。植物の根はそうすることによって水分と同時に新鮮な酸素を得ることができます。時間帯は午前中にあげるのがベストです。寒さが厳しくなってきたら、あげた水が凍らないようにします。冬でも植物は水分が必要です。乾燥や寒さから植えこんだ植物を守るためには地面を稲わらや腐葉土で敷均しをすると大きな効果が望めます。

【植替え】

これからの時期は常緑広葉樹には不向きになってきます。一般的に寒さに対しての抵抗力が低いからです。キンモクセイやサザンカが園芸店に並びますが適期は春になります。落葉樹は落葉後の 1 1 月頃からが適期となります。来春 3 月初めごろまでに植え替えると失敗が少ないです。ただし例外もあります。ボタンやボケは秋に植え替えてカエデ類は年内に済ませます。サルスベリやザクロは 3 月下旬以降のほうが枯れる心配が少ないです。針葉樹は霜が何度か降りて寒くなってからのほうが失敗は少ないです。しかし適期は 3 月頃となります。適期はその植物によって変わります。

【肥料】

肥料は冬の間にあげる**寒肥**がとても良いです。その時の肥料は骨粉入りの油粕が適しています。ゆっくりと肥効が続く土壌改良にも効果があります。その時にはできれば土を掘り起こし肥料を混ぜてあげれば効果はもっと高まります。庭木の場合には年に一度の寒肥をやることによってみどりの色が変わってきます。ただし植物は肥料をやったからといって急激によくなることはありません。

【病害虫】

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。これからの季節は病害虫の越冬を防ぐことが来年の発生を抑えることとなります。落ち葉はきれいに掃き集め焼却処分します。また幹などに着生している産み付けられた卵塊は見つけしだい取り除きます。

今年は二回目のアメリカシロヒトリの発生が多く見られました。来年の大量発生につながらないと良いですが。針葉樹につくマツカレハも小さな今のうちに退治します。

薬剤は農薬取締法で使用方法が決められています。効果があるからといって何にでも使用してよいわけではありません。除草剤も同じです。粒状の非選択性吸収移行型の除草剤を撒いて多くの植物を枯らしてしまう事例も見かけます。商品の説明に長い期間にわたり除草効果が持続しますと表記されている場合は注意が必要です。



ゴマダラカミキリの食害を受けたシダレモミジです。枝の表皮が食べられ樹勢が落ちてしまいます。そして衰弱したところに卵が産み付けられてついには枯れてしまうことも珍しくはありません。

【剪定】

常緑広葉樹や針葉樹はこれからの時期の強い剪定は樹木を弱らせてしまいます。徒長枝や懐の枝を剪定する程度にします。本格的な剪定は来春まで待ちます。落葉樹はこれからの時期には強い剪定が可能です。だからといってノコギリを使ってゴリゴリに切つてよいわけではありません。太い枝が切られると樹木は弱ってしまいます。将来的にこの枝が邪魔になると思われた場合には細いうちに切るようにします。そうすればサクラのように剪定を嫌う樹種でもコンパクトに育てることが可能になります。

アジサイの剪定 方法が悪いために花数が少なかったり大きな株になりすぎている場合はこれからの時期に間引きを行い花芽ができる上部で切り詰めます。来年の花芽は若く強い幹の上部に対になっています。大きな芽を残せば間違いなく咲きます。古い幹は色つやが悪く大きな芽がついていません。根元から切ります。

身近な樹木の紹介**ヤマボウシ (品種 ミルキーウェイ)**

ヤマボウシは公園や街路樹そして庭園のシンボルツリーとして多く利用されています。郡山市近郊の山林にも自生しています。田村市のほうでは山林の境界に残されている場合も多くあります。ただこの品種は中国産ヤマボウシの選抜品種で花付がよく秋には紅葉と実を楽しむことができます。日本のヤマボウシよりも葉が厚く枝も強く伸びて丈夫に育つ品種です。花の色は薄いクリーム色から白色です。